

A watercolor sketch of Baku, Azerbaijan, showing a cityscape along a waterfront. The drawing includes buildings, a bridge, and a flag. The text 'The First International Conference on Materials and Information Sciences in High Technologies (MISHT2007)' is overlaid in red. The date '02.09.27' and the name 'Baku' are written in the bottom left, and 'ATSUA' is written in the bottom right.

The First International Conference on
Materials and Information Sciences in High
Technologies (MISHT2007)

02.09.27

Baku

ATSUA

Baku, Azerbaijan

いきさつ

- アゼルバイジャン科学アカデミーのMamedov教授が大阪府立大の教授として日本に滞在しておられた頃から、多元化合物半導体の光物性という観点から親交を持っていました。アゼルバイジャン帰国後、政府(通信情報省)を動かして、ナノテクと情報科学の研究に、オイルマネーをつぎ込んでもらおうとしていて、このための箔付けに国際会議を企画したようです。大阪府大の中山嘉一教授(JST委託大阪府地域結集型共同研究事業「ナノカーボン」研究総括)も招かれました。
- 東京からロンドン経由で18時間、9月26日早朝に到着、その日から会議が始まりました。初日夜は、レセプション、翌朝早くからテレビのニュースショーに生出演、2日目はコンサート、3日目はバンケット、4日目は昼は日本大使公邸での昼食会、夜はリゾートでの夕食会・・・とオーバーエンゲージメントで、疲れました。ちなみに、小生は、MnPナノワイヤーの自己組織化成長について話しました。

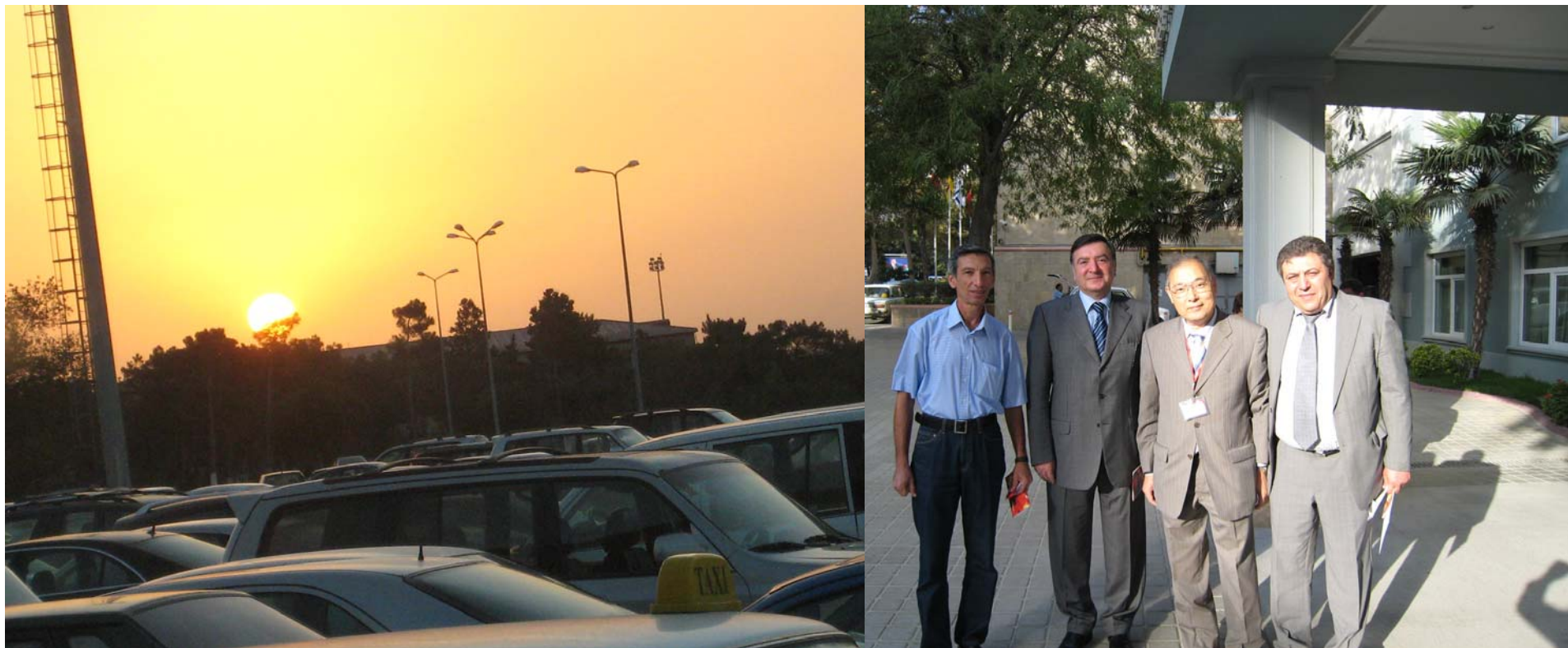
Baku 到着



到着は夜明け前。

- 通信情報省の職員が車で出迎えてくれました。

空港から市内へ

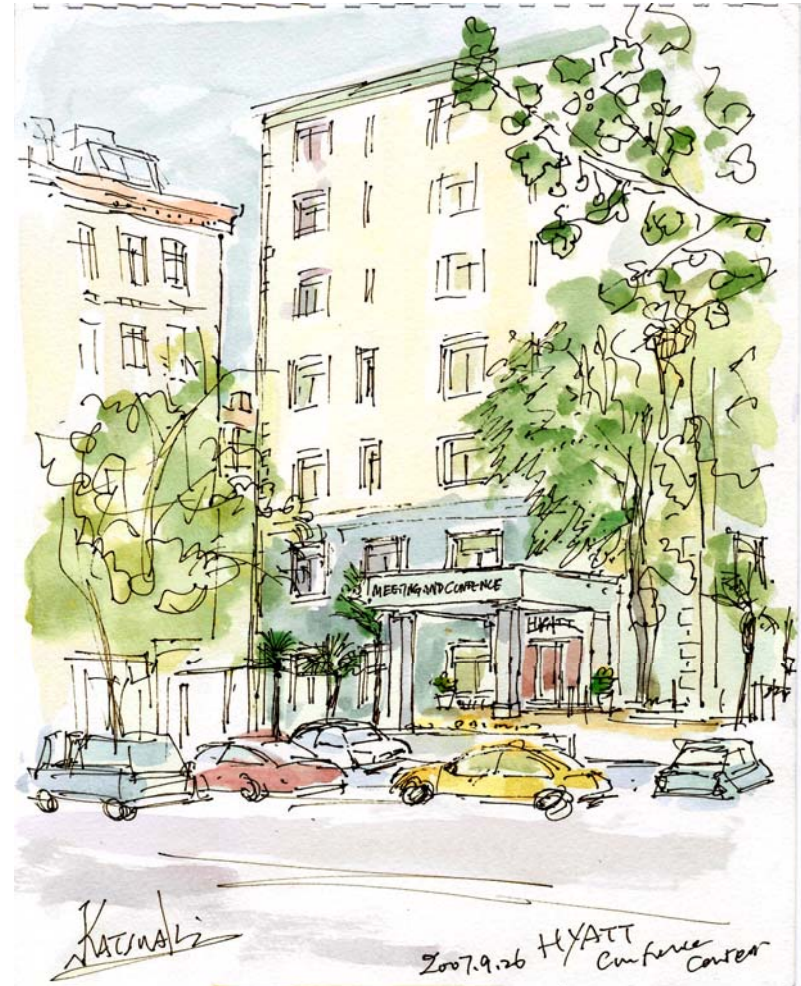


- 市内はずいぶん近代化しているのに驚きました。
- 招いてくれたMamedov教授（右端）と久しぶりに再会し旧交を温めました。

ハイアット会議センター



会議はHyatt Hotel隣接の
会議センターで行われました。



おおげさな開会式





• テレビ局も取材に

ヨットハウスでレセプション

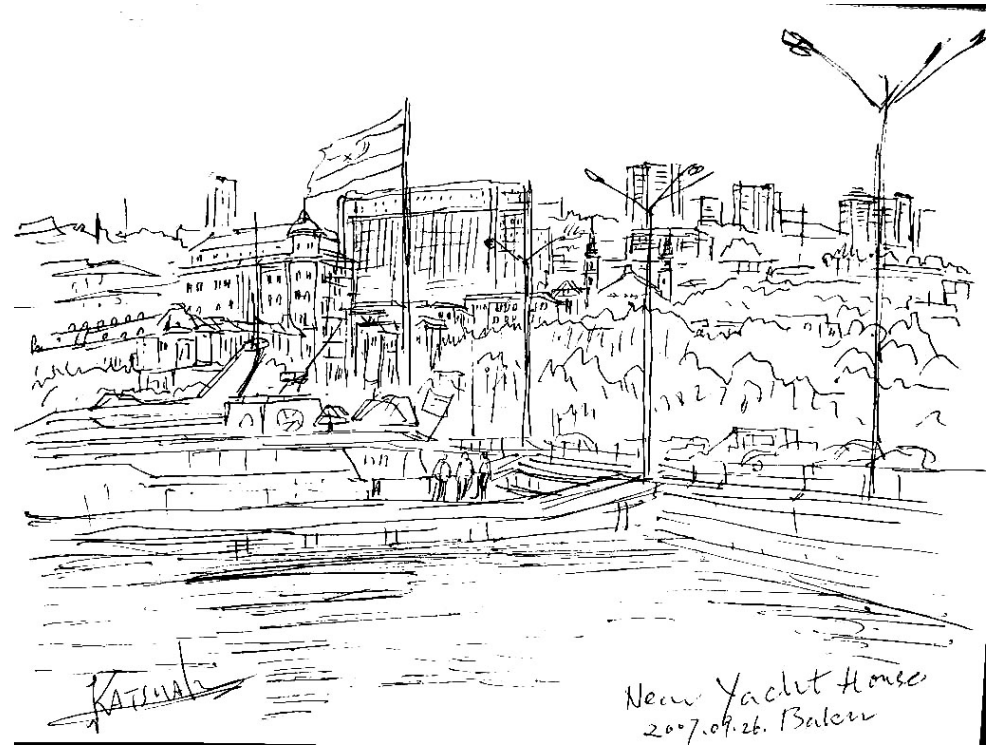


パトカー先導で会場へ！



- カスピ海のバクー湾のヨットハーバーにあるヨットハウスで、歓迎のレセプションが行われた。

ヨットハーバーの眺め



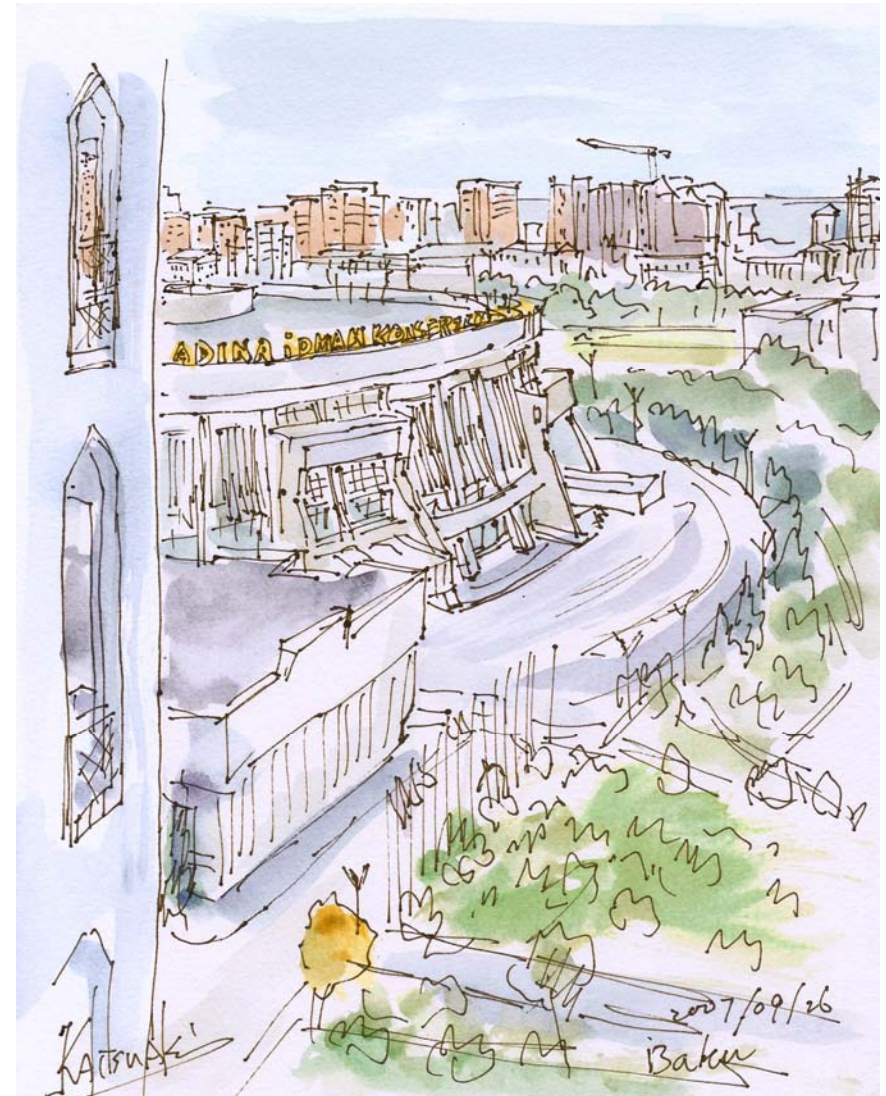
- ヨットハーバーから見える高台には大統領府の庁舎も

豪華なレセプション

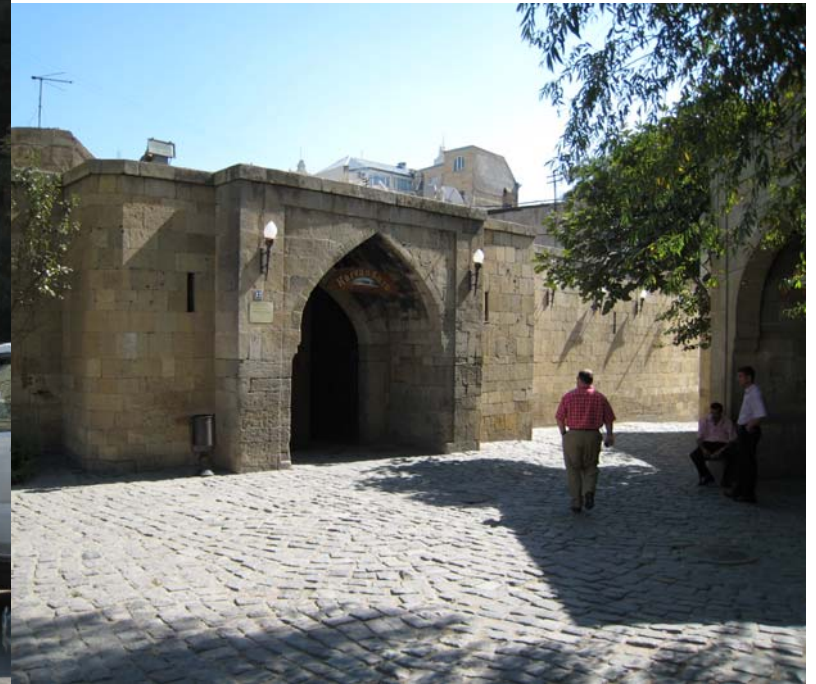


- レセプションにはアエルバイジャン駐在日本大使夫人も

宿舎はレスリング会場となった 体育館のすぐそば



城壁で囲まれた旧市街



- マメドフ教授のご子息の案内でスケッチブックをもって街へ。
- 街は車があふれている。

城壁を描く



- スケッチをしていたら、椅子を持ってきて座らせてくれました。

高台に立つモスク



- アゼリの宗教はもとはゾロアスターであるが、いまはイスラム教徒が多い。あまり厳格なイスラムではない。

高台からバクー湾を望む

- カスピ海は美しい



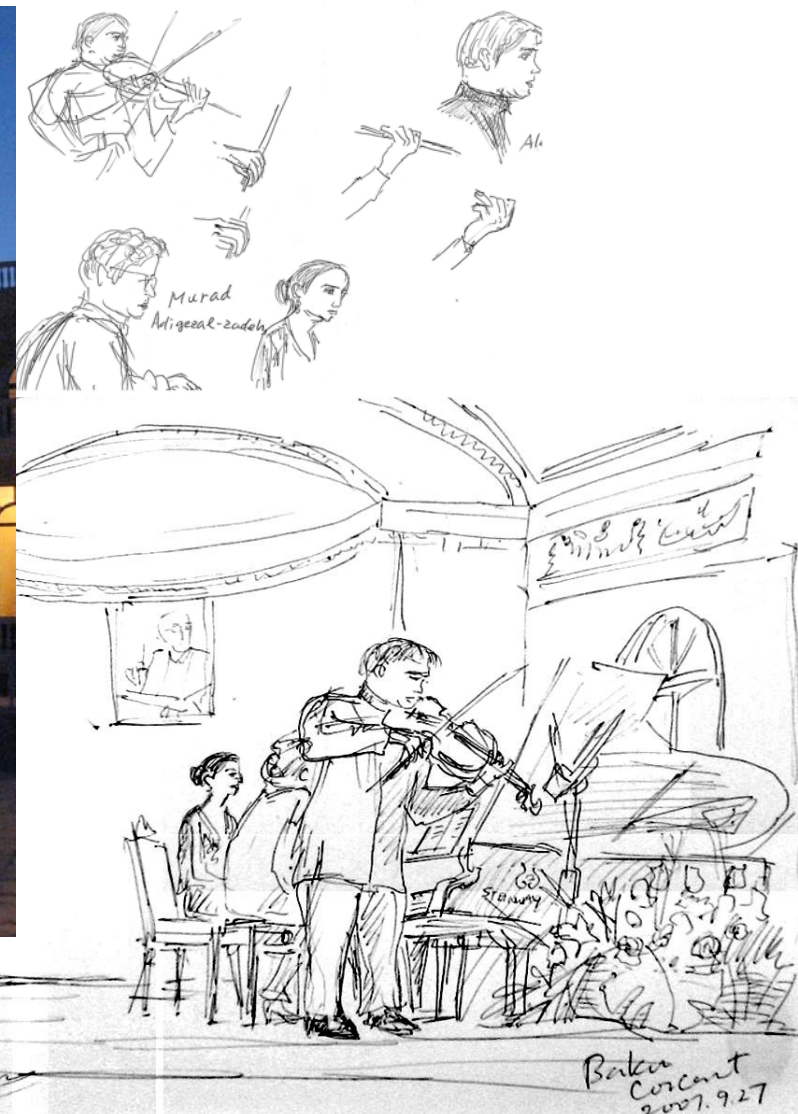
- ノーベルが滞在したことがあるという

戦没者慰霊碑と墓地



- ソビエト政権末期に軍の侵攻を受け多数の犠牲が出た。この墓地はその慰霊の地である。
- 大臣やノーベル賞学者による献花が行われた。

2日目の夜はコンサートを満喫



- バイオリン協奏曲の演奏が行われた。

エクスカーションで絨毯工場を見学



- たくさんの女性が、絨毯を織っている。中国風の中庭が美しい。



テレビ塔見学



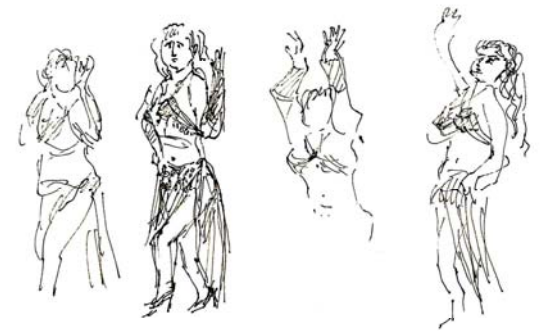
- 展望台からは市街が一望に

Caravan Saraiでバンケット



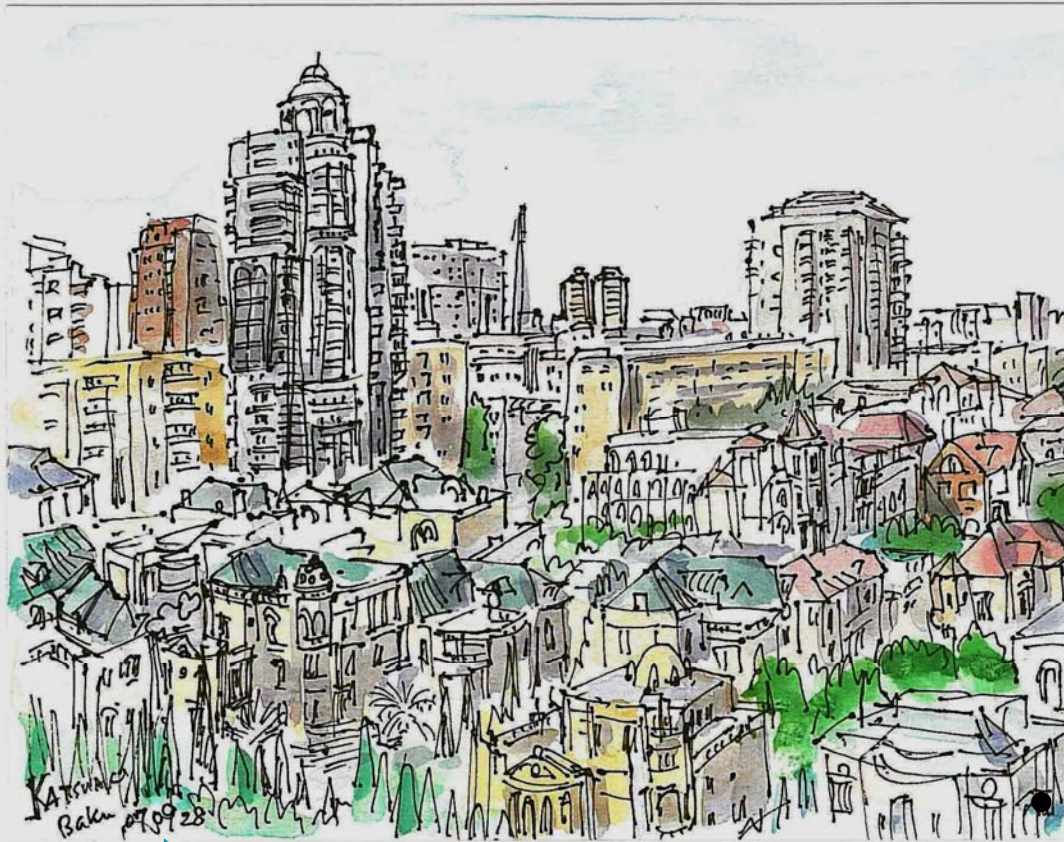
- Caravan saraiは隊商宿である。
- シルクロードの昔を偲ばせる雰囲気がある。

ベリーダンスの踊り子



- 妖しい照明の中で激しいダンスを踊る。

日本大使公邸でランチミーティング



日本大使公邸



安部大使がアバソフ通信情報相を歓迎し、昼食会を催す。日本はバクー油田の掘削とパイプライン建設に協力をしている。

カスピ海を望むリゾートでの夕食会



- カスピ海を望む政府高官のための高級リゾートがある。

夕食会風景



ロシアヨツフェ研究所所長
ノーベル賞学者
アルフォーロフ博士

- ノーベル賞学者を交えての高級リゾートでの夕食会は、正直言ってくつろげなかった。



ノーベル賞学者ゲーバー博士

大阪府大中山教授

閉会式



- 閉会式も、通信情報相自ら出席してハイテクの必要性と、今後の国際協力を謳う大げさなセレモニーであった。

